

# 【熊本のバス利用者2倍構想】

## 高校生へのセールス奮闘中（その2）

安武慎介（熊本電気鉄道(株)共同経営推進室）、佐藤正直（産交バス(株)）、金丸晃大（(株)ケー・シー・エス）  
川崎勇誠（熊本県交通政策課）



### 1. 背景・目的

熊本のバス事業者5社による共同経営推進室では、「利用者2倍」の大きな目標を掲げて戦略・戦術を立案し、通学・通勤・私用・高齢者の各セグメントでの取組を開始した。

「通学」では“交通事故リスク”や“定員割れによる統合・閉校の懸念”に着目し、**バスの安全性や広域交通網などの価値**をもって、**学校・行政との連携**を狙っている。

都市圏の高校生（約3万人）のバス分担率は5%と低い中、高校生・保護者への売り込みの挑戦を始めた。

**高校・生徒・保護者**

バスで通学すると・・・

- 安全性UP
- 学校の選択肢増加
- 通学時間の有効活用
- 学校近隣の交通問題解消
- 定員割れ防止

**バス会社 共同経営推進室**

バスを通勤で利用してもらえると・・・

- 収益UP & サービス改善
- 熊本市・熊本県
- バス利用増&利便性向上となると・・・
- 安全で利便性が高い都市基盤
- マイカーへの過度な依存からの脱却と環境負荷の低減

Win - Win - Win になれる関係へ

### 2. 通学手段選択時の周知

取組1

➤オープンスクールでのPR  
高校通学でバスを利用いただくために、中学3年生向けに、路線やダイヤの検索方法を紹介。  
高校7校の協力のもと、計10回実施



取組2

➤県教育委員会とタイアップしたバス通学PR  
熊本県教育委員会及び県内中学校の協力のもと、県内中学3年生向け（対象者約16,500人）に、電子チラシを配布。

取組3

➤高校入試合格者説明会でのPR  
新高校1年生向けに、路線やダイヤの検索方法を紹介。  
高校7校の協力のもと実施  
相談ブースには約580名の問合せアリ



#### 取組の効果検証（販売実績、乗車実績（推計））

##### ■定期券特別申込書での販売実績

R4年度 活動成果 **55**件 (対象2校)  
R5年度 活動成果 **318**件 (対象7校)

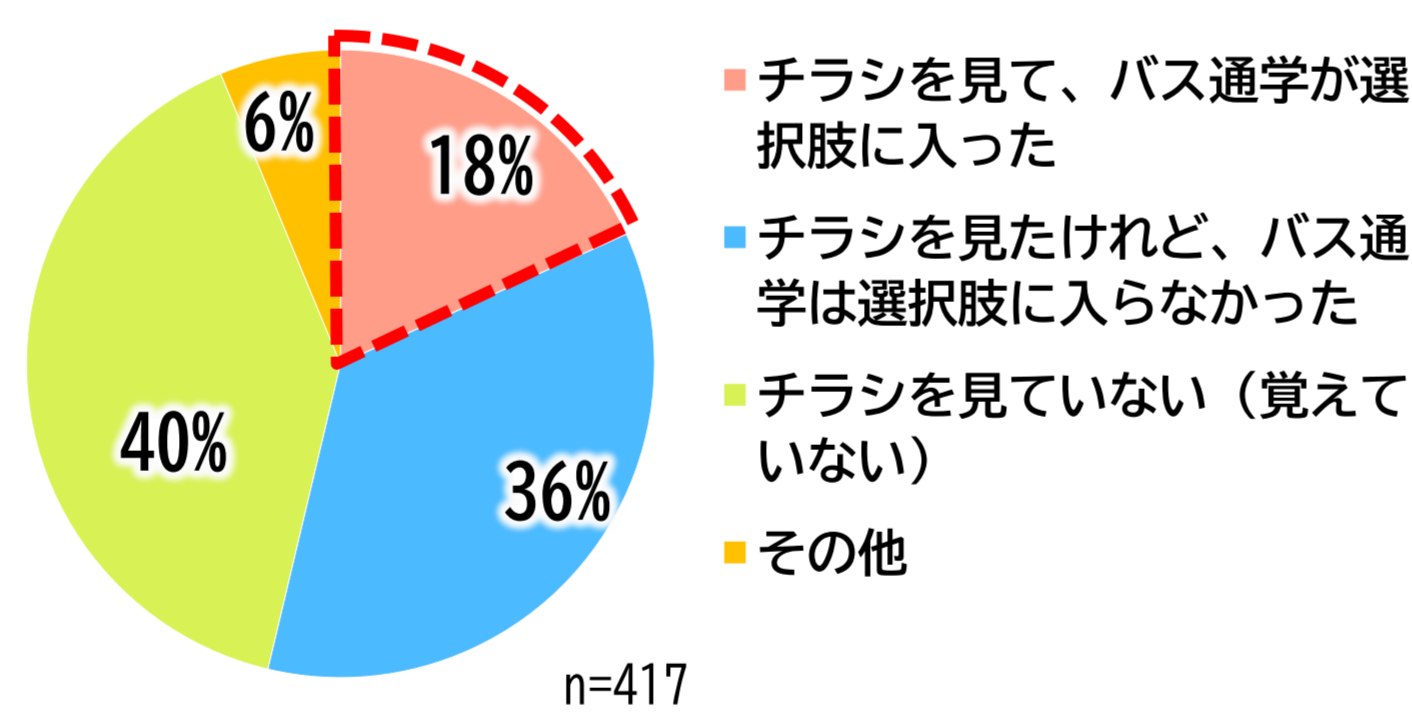
##### ■バス利用実績 ※ICカードデータを基に効果検証

	従前値 (R4)	取組後の人数 (R5)	変化量 (効果)
A高校	21,620人/年	24,913人/年	+3,293人/年
B高校	9,012人/年	10,996人/年	+1,984人/年
計	30,632人/年	35,909人/年	+5,277人/年 (人増)

#### 取組の効果検証（新1年生保護者アンケート）

##### ■オープンスクール時の配布チラシが高校への通学方法を考えることに役立ったか？

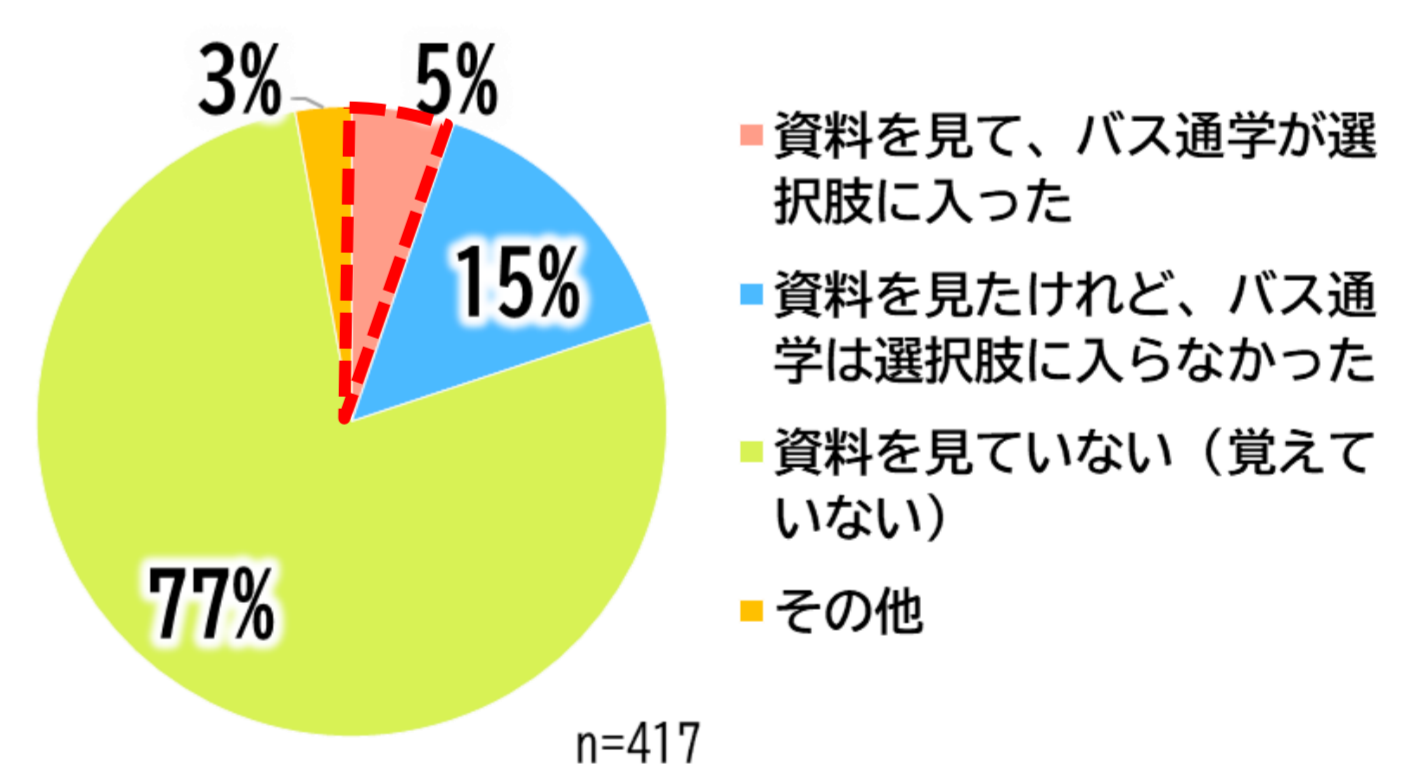
Q. オープンスクールの時に配布していた「バス利用に関するチラシ」をご覧になりましたか？  
高校への通学方法を考える時に役に立ちましたか？



54%が「チラシを見た」と回答。  
18%が「チラシを見てバス通学が選択肢に入った」と回答。  
（「チラシを見た」層の34%）

##### ■中学校を通じて配布した資料が高校への通学方法を考えることに役立ったか？

Q. 9月から10月頃に中学校で提供された「バスに関する情報」をご覧になりましたか？  
高校への通学方法を考える時に役に立ちましたか？



20%が「資料を見た」と回答。  
5%が「資料を見てバス通学が選択肢に入った」と回答。  
（資料を見た人の約27%）

### 3. 格安定期券発行&校内周知

熊本西高校と九州産交バス(株)が、通学時における公共交通利用に向け、協働して、利便性向上策の実施、将来に渡り持続可能な路線を目指して取り組んでいます。

	R4年度	R5年度	累計
販売数	147枚	231枚	378枚
売上金額	735,000円	1,155,000円	1,890,000円
利用者増	4,848人	7,796人	12,644人

情報発信

新入学生説明会での出張型の通学お悩み相談

教室内のバス時刻表掲出

西高HPのアクセスページのリニューアル

熊本駅からの移動をお得に「駅からバス西高」の発売

利便性向上を目指した西高への通学ダイヤ改善

西高生と連携した、新規路線やダイヤ増便の検討

サービス改善

